

委員会の動き

アンケート調査も実施致しました。放送の認知度は前回調査と比較すると、ラジオ放送が45%から90%、インターネット放送が12%から70%と向上しています。意見、要望については12件の回答が寄せられました。分りやすく伝えていて工夫されていると思う。印刷物とは違って、生の声、息づかいなどが伝わり審議に対する真剣さを感じる。という声の一方、シナリオ通りの答弁調整が行われているのではないかと、議論のやり取りが芝居の様でリアリテイがない。インターネット放送は全部動画で配信して欲しい。富良野の公式ホームページから聴けるほうが良い。議会の言葉は専門的で、私達主婦には分かりませんという声もあり、今後の参考にしたいと思えます。

■富良野市議会初の議会報告会

公聴広報活動の大きな課題で

ある議会報告会は、7月14日に麻町連合会で開催し、議会改革を中心に本委員会の取り組みを報告し、議会について率直なご意見を頂く事が出来、議会が住民の皆様と直接対話する事の意義を改めて感じました。ここでも議会はセレモニーの場ではないかという意味の発言もありましたが、富良野市議会は本会議を公開の議論の場として尊重し、本会議の議論を通じて結論を導き出す事を第一義としています。議会報告会は、9月28日北の峰連合会で2回目となりました。現在は、モデル的に実施していますが、出来る限り早い時期に議員全員による報告会に移行し



議会改革麻町報告会

て参ります。議会は住民の代表機関であり、議会改革は代表機

決算審査特別委員会

平成20年度決算審査特別委員会を設置

◇平成20年度の一般会計外各会計決算が、監査委員（松浦惺氏、横山久仁雄氏）の審査を受け、認定を受けるため第3回定例会に提案されました。

【一般会計・特別会計】

- ・一般会計歳入歳出決算
- ・国民健康保険特別会計
- ・介護保険特別会計
- ・老人保健特別会計
- ・後期高齢者医療特別会計
- ・公設地方卸売市場事業特別会計
- ・公共下水道事業特別会計
- ・簡易水道事業特別会計
- ・企業会計
- ・水道事業会計決算
- ・ワイン事業会計決算

◇本議会では、各会計の決算審査のため、議長と議会選出監査委員を除く議員16名による特別委員会を設置

関として必要な議会の機能を高める取組みと認識しています。

し、閉会中の継続審査としました。なお、初日の定例会終了後に委員会を開き、委員長に岡本俊委員、副委員長に岡野孝則委員をそれぞれ選出しました。

◇また、9月18日の定例会閉会后に委員会を開催し、各所管にかかる審査日程及び決算審査に必要な審査資料を決定するとともに、20年度決算の総括説明を受けました。

【各所管審査日程】

11月4日 (水)	保健福祉部・看護 専門学校・経済部
11月5日 (木)	建設水道部 教育委員会
11月6日 (金)	総務部 歳入総括
11月20日 (金)	予備日

※上記日程にて傍聴できます。

上下水道条例等審査特別委員会

上下水道条例等審査特別委員会を設置

◇今回提案された「富良野市公共下水道に関する条例」及び「富良野市水道事業給水条例」並びに「富良野市簡易水道事業給水条例」の一部改正を閉会中に審査するため、上下水道条例等審査特別委員会が設置されました。

- 委員長 穴戸 義美 副委員長 岡本 俊
委員 佐々木 優・大栗 民江・天日 公子・岡野 孝則・東海林 剛